

## 森林インストラクター資格試験後の基礎研修

### 「森林作業」

2019年10月14日(月祝) 小雨 パウロの森

森林インストラクター資格試験終了後の基礎研修として「森林作業」を聖パウロ学園高等学校とパウロの森くらぶの協力を得て、台風19号が通り過ぎた10/14に、パウロの森で実施しました。これから森林インストラクターとして活躍する皆さんに森づくりの基礎技術を習得して貰うことが目的です。

最初は座学で、森づくり作業について「植えて、育てて、伐って、運んで売って使う」の長期のサイクルと、1年間の短期サイクルでの作業項目とその内容について説明がありました。その後、間伐作業について作業手順と安全注意事項を聞きました。

間伐の実習では、伐倒木の選定、伐倒方向の決定、周囲の整理、メインロープ掛け、切断部のマーキング、作業開始の合図、受け口切り、追い口切り、重心移動、伐倒、作業終了時の合図、枝払い、玉切り、運搬集材までの一連の作業を、講師の指導を受けながら行いました。伐倒方向に受け口を切る、ツルを均一に残す、そのためには作業する体の位置と向きが重要などの指導に従って作業を進め、狙い通りの方向に伐倒できました。伐倒後に切り株を観察し、受け口の大きさ、ツル幅、均一性、切り口の水平度などを確認し、講師から90点の評価を頂きました。



間伐実習：伐倒木の選定・蔓がらみの確認



使った道具の手入れ

最後に道具の手入れ方法の指導を受けて、使った鋸と剪定ばさみの手入れを行いました。振り返りで、樹種：スギ、直径：19cm、樹高：22m、方法：手鋸、を伐倒記録に記載して、森林作業の基礎研修を修了しました。

参加した会員の皆さんにとって、伐倒作業手順に従って基本通りに鋸を挽く作業は難しかったようです。森づくり作業の概要と伐倒作業の基本を理解して経験を積み上げ、森林インストラクターとして、一般の人を指導できるようになることを期待します。

参加者：古谷さん、福山さん、星野さん

講師：森田寛臣さん

(報告：FIT友の会運営部会 槇田幹夫)







伐倒方向の決定



メインロープ掛け



切断部のマーキング



受け口切り



追い口切り



枝払い



切り株を観察



玉切り